

平成 29 年 4 月 12 日

在来線用軌道検測車の老朽取替について

- 在来線用軌道検測車の老朽取替として、これまで運行してきた高速軌道検測車「マヤ34形」に替えて、新型の軌道検測車「マヤ35形」を投入します。
- これまで実施出来なかった積雪時での軌道変位の検測が測定方法を変更することで可能となるほか、線路状況を撮影する画像処理装置を搭載して収録します。
- また構造物との離れを人が定規で測定していたものを、光波により連続かつ自動で測定可能となるため、効率的で高精度な検査体制が実現します。

1. 車両形式

- マヤ35形（動力を有しない事業用客車）
※「マ」：車両の重量を示す記号
※「ヤ」：試験車を示す記号

2. 車両概要

- 最高運転速度 110km/h
※軌道検測車の牽引は、キハ40形気動車または機関車で実施（キハ40形気動車との編成時は 95km/h）
- 車両外観は、北海道新幹線H5系と同系色のグリーンをベースに、線路沿線を彩る紅葉のオレンジ色、あるいは雪原の白色が、軌道検測車の走行とともに流れ動く様子をイメージしてデザインしました。



3. 製作費

- 車両および検測装置を含めて、製作費は約 1.4 億円
(国からの支援を活用した安全投資の案件)

4. 今後の予定

- 車両完成 : 平成 29 年 5 月
- 各種試験等 : 平成 29 年 5 月～平成 30 年 3 月
[車両の性能確認、検測装置のデータ検証等]
- 運行開始 : 平成 30 年 4 月